

Ⅳ：災害発生（避難所使用）時の施設活用モデル提案

（１）目的および概要について

男女共同参画の視点で避難生活における人権を尊重することは、全ての人にとって必要不可欠で、避難生活の安全・安心を確保することが重要である。

三重県総合文化センターは、所在自治体（津市）の避難所指定施設であることから、先の地域リーダー養成講座「“そうぶん”が避難所に！？～いますぐ考えておきたい災害対策～」を通して、男女共同参画の視点での避難所活用モデルを検討した。

講座では、自治会や地域活動、行政担当者など様々な立場、幅広い世代の参加者で意見交換を行った。それらの意見を基に検討を重ね、男女、外国人、高齢者など多様性にできるだけ配慮し、「男女共同参画の視点での施設活用モデル」を作成した。

本モデルでは、男女別の専用スペース（居住、着替え、物干し）や、要介護・支援者用など、対象別の専用スペースを設けた。また、本部、物資の搬入場、物資保管場所など運営にあたって必要なスペースを設けるなど、実質的な運営を想定している。

なお、本モデルは、施設が全館使用可能な状態を前提とした内容である。

（２）避難誘導させる施設の案内順について

【避難所への誘導ルール】

- ・利用者の安全を第一に配慮し、避難誘導を行う
- ・慌てず冷静に誘導する
- ・誘導した施設は『一時的』な避難場所であることを伝える
⇒必要に応じて移動の可能性があることを踏まえた誘導を

※各施設の安全が確認された後

① 文化会館棟

【ホールを除き、最上階・大規模施設から】

第1ギャラリー → 第2ギャラリー → 大会議室 → 中会議室
→ 小会議室 → 第1リハーサル室 → 第2リハーサル室

② 生涯学習センター棟

【最上階・大規模施設から】

大研修室 → 中研修室 → 2・4階小研修室
→ ミーティングルーム・調査研究室

③ 男女共同参画センター棟

【ホールを除き、最上階・大規模施設から】

セミナー室C → セミナー室A → セミナー室B
→ フィットネスルーム → 特別会議室 → 和室

公共施設での対策〔非常時対応モデル例の紹介〕

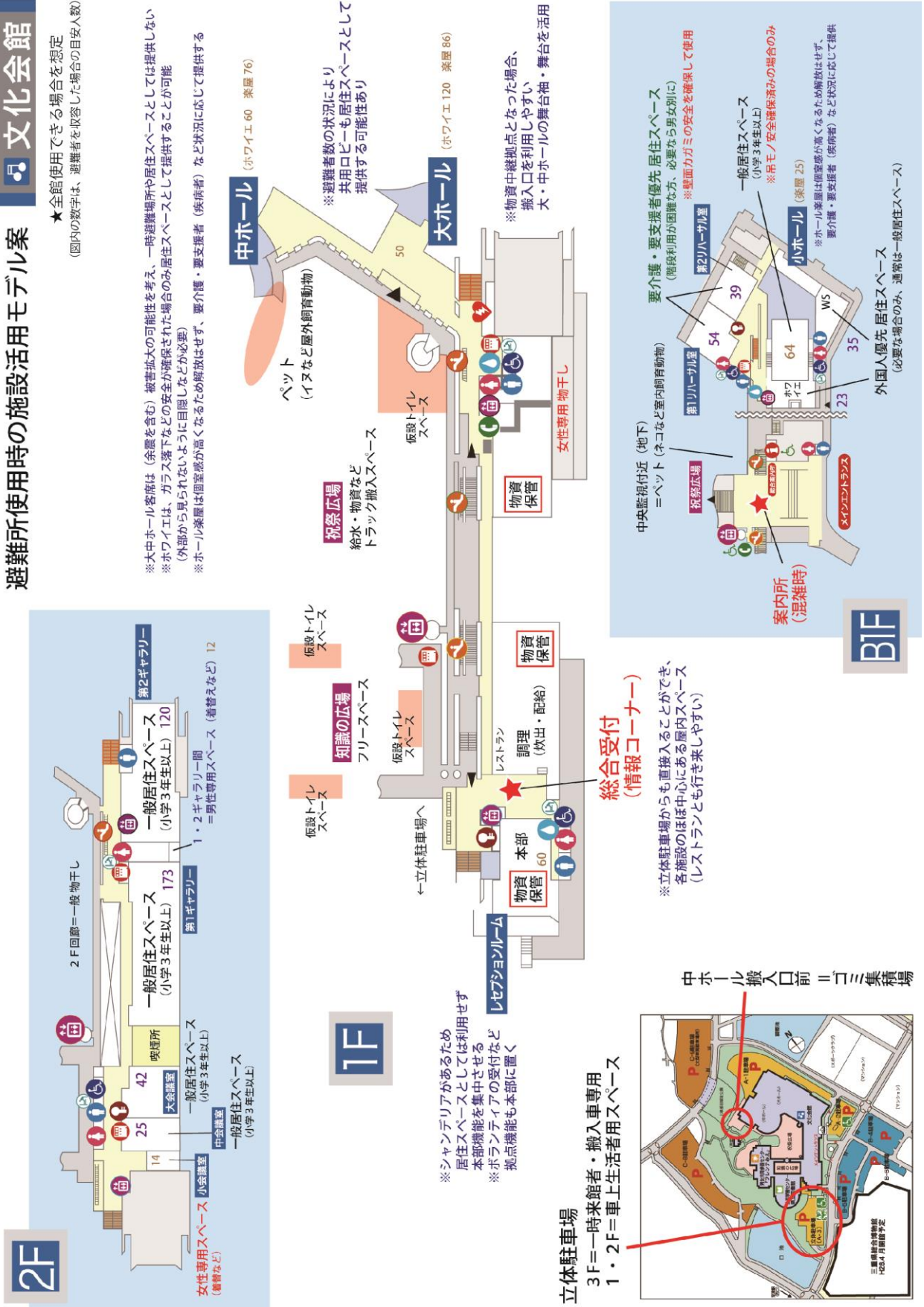
(3) 施設の避難所活用モデル (図)

避難所使用時の施設活用モデル案

文化会館

★全館使用できる場合を想定
(図内の数字は、避難者を収容した場合の目安人数)

※大ホール客席は(余震を含む)被害拡大の可能性を考え、一時避難場所や居住スペースとしては提供しない
※ホワイエは、ガラス落下などの安全が確保された場合のみ居住スペースとして提供することが可能
(外部から見られないように目隠しなどが必要)
※ホール楽屋は個室感が高くなるため解放はせず、要介護・要支援者(疾病者)など状況に応じて提供する



公共施設での対策〔非常時対応モデル例の紹介〕

(3) 施設の避難所活用モデル（一覧表）

三重県総合文化センターが避難所として活用される場合のモデルを「男女共同参画の視点」で作成。

※全館を使用できる場合を想定

※収容人数は、各施設面積の80%を1人の居住スペース(3平米)で割った目安の数

※参考人数は居住スペース想定をしていない施設だが、収容した場合の目安人数(上記と同計算)

棟	階	施設名	用途	収容人数	参考人数	備考
文化会館棟	1F	レセプションルーム	本部(物資保管)		60	シャンデリアがあるため、居住スペースとしては利用せず本部機能を集中させる。電気が通っていれば地下から物資搬入も可能。施設内数か所で同時に会議もできる。
		レセブ前ロビー	総合受付・情報コーナー		0	立体駐車場から入っても一番近く、各棟のほぼ中央にあるため、総合受付・情報コーナーとして使用。レストランとの行き来が楽で、炊き出しや物資などの作業も行いやすい。
		レストラン	調理室(炊き出し・配給・食事)・物資保管		0	衛生上、居住スペースとしては利用せず炊き出しや主に食糧品の保管・配給の窓口として機能させる。避難所内で食事しにくい方のため、食事スペースとしても使用。
		文化情報コーナー	物資保管		0	サービスセンター執務室が近いため避難者用の提供はなしとし、ロビー部分は物資保管スペースとして利用。また、施設利用料の還付やチケット払い戻し対応の窓口として使用。
		文化情報コーナー外テラス	女性専用物干し		0	限られた人のみの入場になり、常に人目もある環境なので、女性専用の物干しとして活用する。
		大ホール	※使用なし		0	安全上、客席内は入場不可。
		ホワイエ	一般居住スペース(※ガラス安全確保済の場合)		120	避難者の状況により、ガラスなど周囲の安全確保のうえ、提供が可能。小学3年生以上の一般居住スペースとして使用。
		楽屋	要介護・要支援者(疾病者)等 居住スペース		86	個室度が高く、一般の健常者居住スペースにすると不公平感が生じやすいため、要介護や病人など対応が必要な方を優先的に振り分ける。
		中ホール	※使用なし		0	安全上、客席内は入場不可。
		ホワイエ	一般居住スペース(※ガラス安全確保済の場合)		60	避難者の状況により、ガラスなど周囲の安全確保のうえ、提供が可能。小学3年生以上の一般居住スペースとして使用。
		楽屋	要介護・要支援者(疾病者)等 居住スペース		76	個室度が高く、一般の健常者居住スペースにすると不公平感が生じやすいため、要介護や病人など対応が必要な方を優先的に振り分ける。
		中ホール搬入口前	ゴミ集積場		0	大型車も入ることができ、人目からも遠く、分別などの作業スペースとしても十分な広さがあることから、ゴミ集積場(一時保管)として使用する。
ホール前共用ロビー	一般居住スペース(※避難者の状況による)		50	避難者の状況により、ガラスなど周囲の安全確保のうえ、提供が可能。小学3年生以上の一般居住スペースとして使用。		

公共施設での対策〔非常時対応モデル例の紹介〕

棟	階	施設名	用途	収容人数	参考人数	備考
文化会館棟	2F	第1ギャラリー	一般居住スペース (小学3年生以上)	173		センター内避難所の拠点。乳幼児やその家族への負担がないよう小学3年生以上の家族を基本として受け入れる。
		第2ギャラリー		120		
		1・2ギャラリー間	男性専用スペース (着替など)		12	男性の着替えスペース。両側から入ることができるため利便性がよく、1か所の設置のみで対応できる。
		大会議室	一般居住スペース (小学3年生以上)	42		センター内避難所の拠点。乳幼児やその家族への負担がないよう小学3年生以上の家族を基本として受け入れる。
		中会議室		25		
		小会議室	女性専用スペース (着替など)		14	女性専用スペース。多少狭いがフロアの1番端にあり、人の目からも配慮できる。
		大会議・ギャラリー間 屋外スペース	喫煙スペース		0	回廊が物干し場となるため、出入口付近の喫煙所を反対側に移設。
	B 1F	小ホール	一般居住スペース (※避難者の状況による)		64	天井の吊モノの安全が確保された場合のみ、避難者の状況により使用。
		ホワイエ	外国人優先 居住スペース (必要な場合のみ)	23		通常は一般居住スペースとするが、特に必要がある場合は外国人優先とし、ストレスの軽減を図る。
		ワークショップ		35		
		楽屋	要介護・要支援者(疾病者)等 居住スペース		25	個室度が高く、一般の健常者居住スペースにすると不公平感が生じやすいため、要介護や病人など対応が必要な方を優先的に振り分ける。
		第1リハーサル室	要介護・要支援者(疾病者)優先 居住スペース	54		高齢者を含め、階段が使用できない避難者については、防災センター入口などから段差なく出入りできるこの施設を使用。必要な場合は男女兼用と女性専用に分けるなど、配慮。 ※壁面カガミの安全を確保して使用
		第2リハーサル室		39		
メインエントランス		案内所(混雑時)		0	避難者らが迷わず総合受付まで行けるよう案内を実施。(受付を2か所にしてしまうと混乱が生じるため、受付などの機能は本部に集中させる)	
広場	1F	祝祭広場	物資搬入等・仮設トイレ ペット收容スペース (イヌなど屋外飼育動物)		0	給水車や物資運搬トラックなどの搬入スペースと仮設トイレスペース。また、イヌなど屋外飼育のペットについては、中ホール外側の半円部分、柱に繋いでおく。
		知識の広場	仮設トイレ・作業スペース フリースペース		0	雨天でも使用できるよう、祝祭広場との境の軒下部分に仮設トイレ。その他、広場内は必要に応じて作業やイベントなどが実施できるフリースペースとして活用。
	2F	回廊	一般物干し		0	男女兼用、一般の物干し場。布団なども干せる。

公共施設での対策〔非常時対応モデル例の紹介〕

棟	階	施設名	用途	収容人数	参考人数	備考	
フレンテ棟	1F	多目的ホール	家族優先 居住スペース (小学2年生以下)	78		天井吊モノの安全確保を最初に実施したうえで、居住スペースとして使用。小さな子どもがいる家族を優先的に受け入れる。基本的に小学2年生以下の子どもが1名以上いる場合はこちらへ。	
		楽屋	相談		3	個室度が高いので居住スペースとしては使用しない。面接相談やしゃべり場、健康カウンセリングなどに使用するなど、多目的に活用。	
		和室	妊産婦優先 居住スペース	10		妊産婦が安心して過ごせるよう提供。希望人数が少なければ家族で受け入れられるが、希望が多い際は部屋が狭いので本人のみになる場合もある。	
		生活工房	作業スペース (洗濯・アレルギー対応調理等)		52	アレルギー対応の調理が必要な場合はこちらを使用。また、ライフラインが復旧している場合は洗濯も。グループ活動や趣味の集まりなどにも幅広く活用可。	
		セッションルーム	乳幼児スペース (授乳・おむつ替えなど)		4	隣の授乳室と合わせ、乳幼児のためのスペースに。個室度が高いので、居住スペースとしては使用しない。	
		ふれあいコーナー	乳幼児スペース (授乳・おむつ替えなど)		10	乳幼児・母のためのスペース。夜中に泣き出したときにも使用できる。庭にも直接出られることからストレスの軽減も図れる。「(ステップアップカフェ)設置後は再度検討が必要)	
		チャットルーム	託児・子ども 交流スペース		8	通常の用途どおり、子どもたちのためのスペースとして使用。親のケアのための一時預かり(託児)などにも活用する。	
		サークル室	女性支援団体 活動スペース		8	フレンテ登録団体や全国の女性支援団体の活動のための場を提供する。しゃべり場やカフェなどとしても活用。	
		フレンテ会議室	女性支援団体 活動スペース		6	通常は貸し出さないが、サークル室同様、多目的に活用。	
		エントランスロビー	家族優先 居住スペース (※避難者の状況による)		25		避難者の状況により、ガラスなど周囲の安全確保のうえ、提供が可能。小学2年生以下の家族優先居住スペースとして使用。
	フレンテ 情報コーナー			15			
			授乳室	授乳室		0	通常どおり、授乳・おむつ替えなどのスペースとして使用。
			茶室	女性・子ども 専用スペース		10	子どもやその母が自由に利用できるスペース。他の家族との交流も。人の目から離れているので夜間はクローズする。
	2F	セミナー室 A	家族優先 居住スペース (小学2年生以下)		49		小さな子どもがいる家族を優先的に受け入れる。基本的に小学2年生以下の子どもが1名以上いる場合はこちらへ。
セミナー室 B				22			
リサーチ室		女性専用スペース (着替など)		10		女性専用スペース。着替えや交流などに使用。	
テラス		物干し (一番奥は女性専用)		0		セミナー室Aの窓沿いは一般物干し。そのまま回った一番奥(和室屋上～多目的ホール横)は女性専用。途中に柵(ドア)があるが、高さが低いいため注意書きや補強が必要。	

公共施設での対策〔非常時対応モデル例の紹介〕

棟	階	施設名	用途	収容人数	参考人数	備考
フレント棟	3F	セミナー室 C	家族優先 居住スペース (小学2年生以下)	52		小さな子どもがいる家族を優先的に受け入れる。基本的に小学2年生以下の子どもが1名以上いる場合はこちらへ。
		フィットネスルーム	女性単身者・要支援者 優先 居住スペース	27		女性単身者やDV被害者などが安心して過ごせるスペースとして確保。
		特別会議室		20		
		中庭	喫煙スペース		0	外部(下の階)からも入れるため、物干しとしては使用しない。
	屋外	日本庭園・竹林	フリースペース		0	多目的イベントスペース。散歩や交流を。
生涯学習棟	1F	ロビー	応急処置スペース		20	総合受付からも近く段差なしで案内できるため、傷病者などの応急処置スペースとして使用。救急車は祝祭広場または立体駐車場3Fへ誘導することで、スロープでの搬送が可能。
	2F	視聴覚室	会議・発表・情報提供 会見用スペース		143	固定席のため居住スペースとしては使用しない。一時避難所なら可。避難者への情報提供(掲示板ではなく肉声のもの)や外部向けの会見などに利用。会議場としての提供も可能。
		2階小研修室	要介護・要支援者(疾病者)優先 居住スペース	21		高齢者や要介護者などを優先的に受け入れる。ただし、階段利用が可能な状態に限る。身体状況、精神状況により部屋を分けたり、必要に応じて男女兼用や女性専用に分けたりなど、配慮。
		まなびラボ		28		
	文学コーナー			23		
	3F	ミーティングルーム		21		
	3F	調査研究室	21			
		学習コーナー	18			
		まなびい場	23			
		中央吹き抜け	一般物干し		0	男女兼用、一般の物干し場。オブジェの上に布団なども干せる。
	4F	大研修室	要介護・要支援者(疾病者)優先 居住スペース	61		高齢者や要介護者などを優先的に受け入れる。ただし、階段利用が可能な状態に限る。身体状況、精神状況により部屋を分けたり、必要に応じて男女兼用や女性専用に分けたりなど、配慮。
		中研修室		41		
		4階小研修室		21		
		談話コーナー		23		
		談話コーナー 外テラス	女性専用物干し (※談話コーナーが女性専用の場合)		0	談話コーナーが女性専用になった場合のみ、このテラスを女性専用の物干し場として利用。そうでない場合は一般物干し場に。
他	屋内	中央監視付近	ペット収容スペース (ネコなど室内飼育動物)		0	多様な方が生活する居住スペースや共用ロビーなどにペットは入れられないことから、屋内飼育の動物については地下のスペースに集中して収容する。
	屋外	立体駐車場	3F＝一時来館 ・搬入車専用 1・2F＝車上生活者用		0	規制が可能なら、3Fは施設と段差がないため一時来館者や搬入車両用に。1・2Fは車で寝泊まりしたい方が利用できるように案内。
				1057	894	
想定収容人数(最大)				1951		

※施設名称等は平成26年3月現在のもので、事情により変更となる場合があります

